



北海道e-水プロジェクトは、10周年。
今後も、北海道の水環境を守るため、
進化し続けてまいります。
今回の特別講演は、世界的な問題となっている
「海洋プラスチックごみ問題」がテーマです。
ぜひご参加ください！

th

10 北海道e-水フォーラム

2019.11.21(木) 17:00-20:45 [16:30 開場]

会場 札幌市民交流プラザ3階 クリエイティブスタジオ
札幌市中央区北1条西1丁目
※例年と会場が異なりますのでご注意ください。※地図は裏面を参照してください。

参加費 無 料(定員180名) ※要事前申し込み・先着順

2019年活動団体発表

(五十音順)

- 阿寒湖のマリモ保全推進委員会(網走市阿寒町)
- 網走川流域の会(網走市)
- 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク(札幌市)
- 大沼ラムサール協議会(七飯町)
- 網走自然保護協会(網走市)
- 一般社団法人ちせ(札幌市)
- 道東のイトウを守る会(網走市)
- 特定非営利活動法人
北海道エコビレッジ推進プロジェクト(余市町)
- 北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ
グローバルアクションプロジェクト(北見市)
- ヤツメウナギ研究会(枝幸町歌登)

パネルディスカッション

「北海道e-水プロジェクト〜次のステージをデザインする」

※登壇者のお名前・プロフィールは裏面をご覧ください。

特別講演

「海洋プラスチック汚染の現状と将来の展望」



講師:

磯辺 篤彦氏(いそべ あつひこ)

九州大学 応用力学研究所教授・博士(理学)

プロフィール

2008年度農大工学部海洋科学研究センター教授、2014年より
環境省海洋プラスチックごみ研究プロジェクト・プロジェクト
リーダー、JICA/JST 東南アジア海域における海洋プラスチック汚
染研究のプロジェクトリーダー等を務める。マイクロプラスチック研
究で、2018年度農大工学部海洋科学研究センター助教授、2019年内閣
府環境政策評価委員会委員。

参加プレゼント

ご参加いただいた方に「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン&
「い・ろ・は・す天然水」555mlペットボトルを1本ずつプレゼントします!

※2019年11月より「い・ろ・は・す天然水」555mlペットボトルの裏面の一部は、「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されます。



お申込み・お問合せ

公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト事務局までお申込みフォーム、お電話、
FAXのいずれかでお申込みください。TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812

※可能な限り、お記のお申込みフォームをご利用ください。※FAXでお申込みの方は、裏面の申込書にご記載の上お送りください。
※いただいた個人情報、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催: 北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団

北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。



お申込みフォーム



北海道e-水プロジェクト

第10回北海道e-水フォーラム開催にあたって

北海道e-水プロジェクトは、おかげさまで今年10周年を迎えました。これまで延べ101団体が取り組む、地域の水環境保全活動を支援してきました。今回のフォーラムは、例年の活動団体発表に加え、この10年をふりかえり、次のステージに向けた活動をどう創っていくかを考える場とします。また、特別講演として、近年重要な環境問題となっている海洋プラスチックごみ問題について九州大学・磯辺教授をお迎えし、私たちがどう取り組んでいくかについて示唆をいただきます。

パネルディスカッション登壇者プロフィール

コーディネーター

吉田 磨氏
(よしだ おさむ)

酪農学園大学 農食環境学群環境共生学類
環境地球化学研究室 教授



■プロフィール

北海道大学大学院地球環境科学研究科博士課程修了・博士(地球環境科学)。現在、酪農学園大学農食環境学群環境共生学類・教授(環境地球化学)。道内で一次産業間の共生や生物多様性との共生を目指し流域生態系フィールド観測を常に学生と共に進めている。環境教育を通して将来地域のリーダーとして活躍する人材の育成にも力を入れている。学生を乗せて自らハイエースで駆け回り、毎年およそ2万キロ(地球半周)を走破している。

パネリスト

石山 優子氏
(いしやま ゆうこ)

NPO法人いしかり海辺ファンクラブ
理事長



■プロフィール

NPO法人いしかり海辺ファンクラブ理事長。2011年に任意団体として設立。2016年法人化。2017年より石狩湾海浜植物保護センターの事業運営を石狩市より受託。石狩市本町生まれ。子供の頃から強制的に海に行かされ海が嫌になり、就職を機に北海道を離れた。まさか石狩湾に関わる活動をする事になるとは想像しなかった。会では、主に親子向けの自然体験活動を担当している。

パネリスト

新谷 哲也氏
(しんや てつや)

網走川流域の会 会長
網走漁業協同組合 代表理事組合長



■プロフィール

北海道網走市出身。東海大学海洋学部卒業。秋サケ定置網漁業、ホタテガイ桁網漁業経営に従事。平成14年より網走漁業協同組合漁場環境保全委員長として、河川・湖沼・沿岸の漁場環境保全活動に取り組む。下流の環境保全のためには上流との繋がりが不可欠であるとの認識に至り、流域内連携を模索。平成27年に網走川流域すべての農水林業協同組合、自治体、企業を繋ぎ「網走川流域の会」を設立。組合長になった現在も積極的に流域環境の環境保全に取り組んでいる。

パネリスト

梶川 浩二氏
(かじかわ こうじ)

北海道環境生活部環境局
循環型社会推進課 課長



■プロフィール

北海道上川郡利根町出身。北海学園大学中退。昭和50年4月、北海道職員採用。土別、千歳、当別保健所で保健予防、環境衛生業務に従事。平成9年、空知支庁(現空知総合振興局)勤務時に、産業物・リサイクル業務に初めて従事。以降、産業物行政を中心に道本庁、振興局に勤務。平成25年、環境省大臣官房産業物・リサイクル対策部産業廃棄物課へ出向し、産業廃棄物の規制等の基準改正業務に従事。令和元年8月から現職。

パネリスト

千葉 洋平氏
(ちば ようへい)

北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報・CSR推進部 広報・CSR推進課
地域連携担当課長



■プロフィール

北海道函館市出身。神奈川大学外国語学部英文学科卒業。2003年北海道コカ・コーラボトリング(株)入社。2019年1月より現職。北海道コカ・コーラのCSR活動を担う部署の一員として北海道e-水プロジェクトを担当し、北海道の水辺の環境保全に取り組んでいる。他にも、北海道大学大学院と協働で、同社札幌工場で使用する地下水の水源地である白旗山(札幌市清田区)における、子どもたちを対象とした環境保全・教育活動も担当。北海道の豊かな環境を未来へと大切に引き継いでいく事業活動に従事している。

会場 札幌市民交流プラザ3階 クリエイティブスタジオ
札幌市中央区北1条西1丁目



FAXお申込み書 (FAX:011-218-7812)

お名前	ふりがな	電話番号	ご所属(あれば)